

事業ID: 2023007226

事業名: 海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名: (一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

日本財団御中

# 海と日本プロジェクトin青森県 実施報告書

2024年3月31日

一般社団法人 海と日本プロジェクトin青森県

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

# 1.WEB運営

## 1-(1) WEB運営<SNS運営>

WEB運営の一環として、適宜X(旧Twitter)アカウントを活用。告知系情報や地域ならではの海の情報を発信した。

また、単にアカウントを運営するだけでなく、地元の担当が投稿を行うことで地域全体の海の情報を日常的に発信したり、他エリアや公式サイトと連携した情報発信を行った。

アカウント	<a href="https://twitter.com/umi_aomori">https://twitter.com/umi_aomori</a>
インプレッション数	383,277 (3/1 時点)
エンゲージメント数	398,728 (3/1 時点)
フォロワー数	5,376名 / 内、増加数4,636名 (3/14時点)

### ▼代表的な投稿

**【公式】海と日本プロジェクト in 青森県**  
@umi\_aomori

先日、むつ市脇野沢方面を車で走っていた際に見つけた看板

大きな赤い字で「テツテあります」

テツテ...? 🤔

#テツテ #とは



午後3:54 · 2023年6月12日 · 3,343 件の表示

👤 ポストのエンゲージメントを表示

🗨️ 1    🔄 6    ❤️ 31    📌 1    🔄

**返信をポスト** 返信

---

**【公式】海と日本プロジェクト in 青森県** @umi\_aomori · 6月12日

お店の人に、テツテを見せてもらいました！  
テツテとは「カワハギ」のことで、乾物として販売されていました🐟

こちらの店では40年ほど前から販売されていて人気を集めています。  
しかしここ数年、脇野沢周辺の海でまとまった量のカワハギが揚がらず、品切れが続いているそうです... 🤔

**【公式】海と日本プロジェクト in 青森県**  
@umi\_aomori

八甲田丸港フェスタ。ベイエリアはすごい賑わいです！ 海の日だもんね🌊

#海と日本 #海と日本プロジェクトin青森県 #日本割別 #八甲田丸 #海の日 #平沼白鯊子



午前11:54 · 2023年7月17日 · 1.6万 件の表示

👤 ポストのエンゲージメントを表示

🗨️    🔄    ❤️ 53    📌    🔄

**返信をポスト** 返信

事業ID: 2023007226

事業名: 海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名: (一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

### 1-(1) WEB運営<SNS運営>



【公式】海と日本プロジェクト in 青森県 @umi\_aomori

株式会社丸勝水産とのコラボ商品「海が食卓を彩る」4種セットを抽選で10名の方にプレゼント！  
青森で愛される海の幸をぜひ味わってください🌊  
応募方法は@umi\_aomoriをフォロー+この投稿をリポストするだけ！  
1/15 (月) 12:00が切です！  
ご応募お待ちしております🥰

#日本財団 #海と日本プロジェクト



午後0:00 - 2024年1月12日 - 6.2万 件の表示

返信をポスト

503 3,694 1,596 60

## 1-(2) WEB運営 &lt;ニュースサイト投稿 記事一覧&gt;

ニュースサイトURL:<https://aomori.uminohi.jp/>

No.	投稿日	記事タイトル
1	2023/5/26	旬の魚介類がいっぱい！オリジナル海鮮丼『のっけろ丼』
2	2023/5/29	海を楽しめる道の駅こどもり「ポントマリ」
3	2023/5/31	【八戸市】種差海岸の魅力をご紹介します
4	2023/5/31	青森市「海を楽しむ」プチ旅日記～のっけ丼・陸奥湾・喫茶店～
5	2023/5/31	むつ湾フェリー「イルカいないかキャンペーン」
6	2023/6/5	五感で日本海を感じる！ぶらり深浦ドライブ
7	2023/6/10	スポGOMIワールドカップ2023 青森 開催概要(2023/6/25開催)
8	2023/6/29	発見！海の生き物・おもしろ雑貨
9	2023/6/30	八戸のおいしさをギュッとつめこんだ『ルート64』はちのへバター
10	2023/7/2	階上の海岸線を満喫！トレッキング&潮風ヨガ
11	2023/7/3	青森駅チカ！海の見える公園6選
12	2023/7/3	【参加者募集！】青森の海とアマモとの秘密を探れ！～あおもりアマモ調査団～
13	2023/7/11	ごみ拾いはスポーツだ！スポGOMIワールドカップ 青森大会開催！
14	2023/7/17	シーグラスと海の生き物クラフト『fromM』古川美保(みお)さん
15	2023/7/24	大畑海峡サーモン祭りに行ってきました！
16	2023/7/31	今年で18回目！八甲田丸港フェスタ開催！4年ぶりのMr.防波堤コンテストも！
17	2023/8/8	ゆかい村海鮮どんぶりまつり(風間浦村)烏賊様レース
18	2023/8/18	館鼻岸壁朝市で海の幸をとことん堪能
19	2023/8/19	八戸満喫！ウミネコの虜に！
20	2023/8/25	青森の海とアマモとの秘密を探れ!~あおもりアマモ調査団~を開催しました!
21	2023/9/12	ホタテの貝殻でできたネイルポリッシュ「CYAN」
22	2023/9/25	五能線と日本海
23	2023/9/30	今日も元気に回遊中！「八戸サバ嬢」がデビュー5周年
24	2023/9/30	「ワインしめさば」で食卓に華を添えよう
25	2023/9/30	海の日連休、東北巡りの旅～仏ヶ浦～
26	2023/10/1	海の匠 ガラスの浮玉をアップサイクル
27	2023/10/2	海洋生物学に情熱を注ぐ若者たち
28	2023/10/3	スポGOMI甲子園2023 青森県大会
29	2023/10/4	むつ湾感謝祭と油川小学校の活動発表
30	2023/10/5	ネイルポリッシュ『CYAN』のお話を伺ってきました！

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

No.	投稿日	記事タイトル
31	2023/10/7	夏泊半島と陸奥湾
32	2023/10/8	津軽半島の海と絶景
33	2023/10/9	八戸の海鮮を食べるならここ！「館鼻岸壁朝市」「みなと食堂」「八食センター」「みろく横丁」
34	2023/10/21	下北半島の景勝地 仏ヶ浦と大間崎
35	2023/10/23	海軍と共に歩む街「大湊」
36	2023/10/24	国際海峡の津軽海峡を望む竜飛岬
37	2023/10/31	黒いダイヤ、大間マグロを食す旅
38	2023/12/18	今に伝わる北前船ゆかりの文化
39	2023/12/18	海のごちそう 青森の珍味ミネフジツボ
40	2023/12/18	あおもりアマモ調査団の水中ドローン探検
41	2023/12/18	ブルーカーボンとアマモの役割
42	2023/12/18	海と灯台ウィーク2023
43	2024/2/6	陸奥湾のホタテを守るためにわたしたちができること
44	2024/2/7	むつ市民が教える下北地域の海水浴場3選
45	2024/2/8	陸奥湾をひとりじめできる浅虫温泉！青森県民ならではの視点で紹介
46	2024/2/9	青森の海の絶景スポット！カップルで行くおすすめ5選！
47	2024/2/10	青森の海で体験できるマリリアクティビティ5選！
48	2024/2/11	青森の海的美しさを写真に残す！インスタ映えする絶景スポット5選！
49	2024/2/12	解放感たっぷりのビーチヨガを楽しめる青森の海を紹介
50	2024/2/12	青森の海で海水浴デビューするならココ！おすすめの海水浴場5選！

### 1-(3) WEB運営 <代表的なニュースサイト投稿 記事詳細>

#### 上半期の代表的な記事 1

## ゆかい村海鮮どんぶりまつり(風間浦村)烏賊様レース

<https://aomori.uminohi.jp/report/yukaimura-ikasamarace/>

8月は年間で最もPV数が多かった。そのうちの記事の一つ。青森県事務局の応援動画については、すべての内容をニュースサイトでも見られるようにしている。本記事では、風間浦村で実施されたイベントについて、できるかぎり画像をふんだんに盛り込み、にぎやかな様子を紹介した。



### 1-(3) WEB運営 <代表的なニュースサイト投稿 記事詳細>

#### 上半期の代表的な記事 2

## 館鼻岸壁朝市で海の幸をとことん堪能

<https://aomori.uminohi.jp/report/tatehana-asaichi-2023/>

PV数の多かった記事の2本目。八戸市の人気朝市を紹介しており、朝市で購入できるおススメグルメを紹介する内容だったため、PV数が増加したものとみられる。



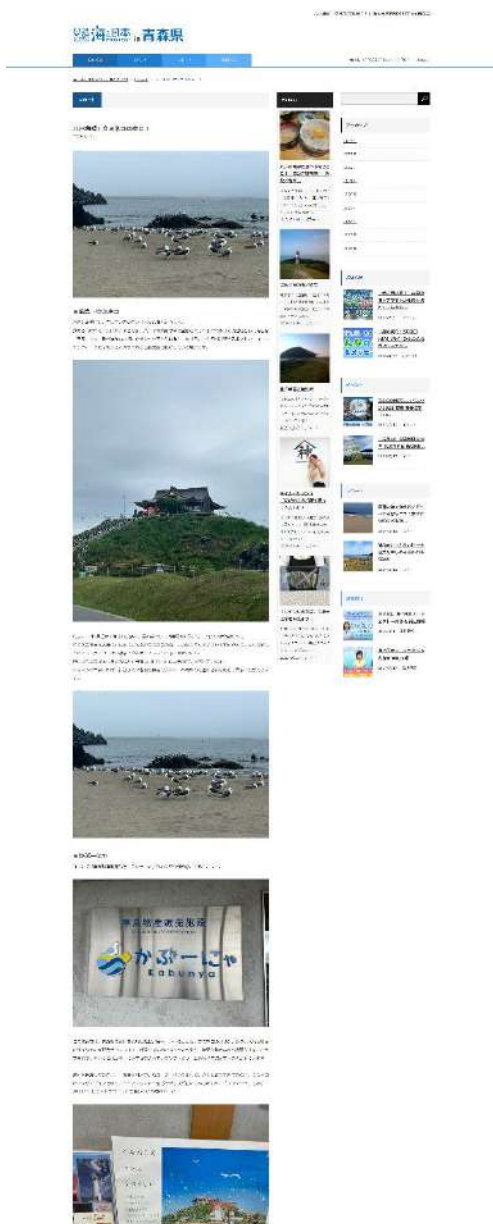
### 1-(3) WEB運営 <代表的なニュースサイト投稿 記事詳細>

## 上半期の代表的な記事 3

### 八戸満喫！ウミネコの虜に！

<https://aomori.uminohi.jp/report/hachinohe-umineko/>

多くのPV数を稼いだ8月の記事の3本目。2本続けての八戸市特集となった。八戸市のウミネコに特化した記事はそれほど多くなく、燕島神社に関する話題も併せて取り上げたことで検索者が流入してきたことでPV数増加につながったと推測される。



### 1-(3) WEB運営 <代表的なニュースサイト投稿 記事詳細>

## 下半期の代表的な記事 1

# 黒いダイヤ、大間マグロを食す旅

<https://aomori.uminohi.jp/report/kuroidaiya-oma-maguro/>

マグロで有名な大間町での紀行文。大間町でもおいしいマグロが食べられることに加え、観光の際におすすめのスポットも併せて紹介。具体的な地名を記載し、検索でのヒットを狙った構成を心がけた。



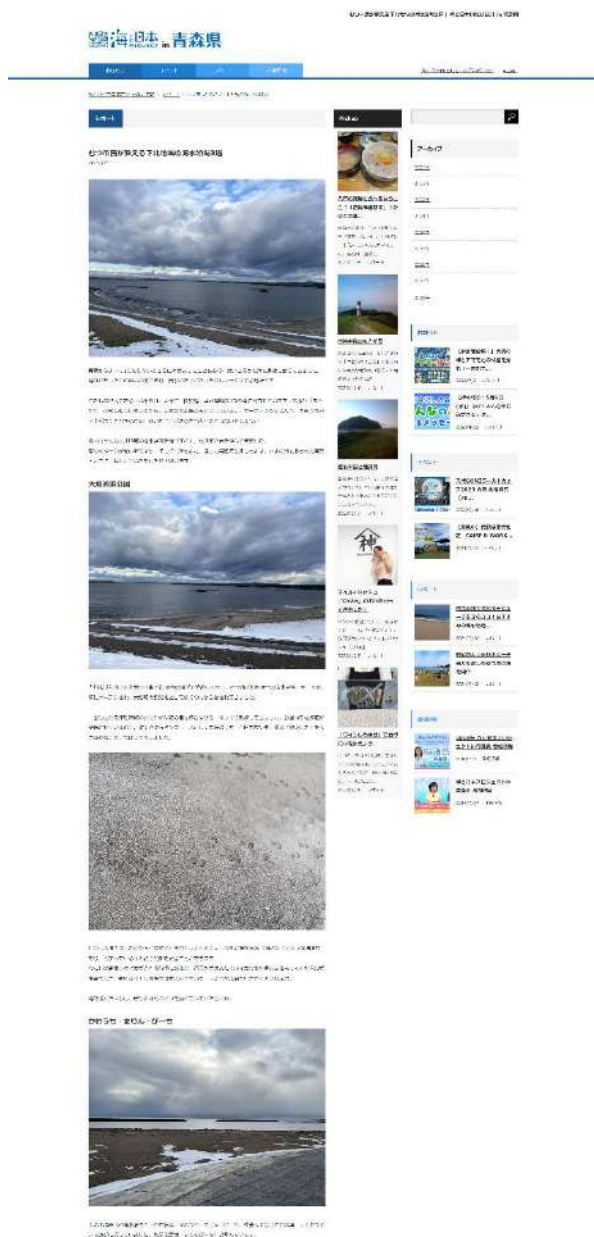
### 1-(3) WEB運営 <代表的なニュースサイト投稿 記事詳細>

## 下半期の代表的な記事 2

### むつ市民が教える下北地域の海水浴場3選

<https://aomori.uminohi.jp/report/mutsushimin-kaisuiyokujo/>

あえて、冬の海の魅力を伝えることで、ニッチな需要に刺さる記事を目指した。また、筆者が下北出身ということもあり、中々TVやインターネットで取り上げられない下北半島の海水浴場を紹介。こちらも少ない需要からPV数を増加させる狙いで記事を投稿した。



# 1-(3) WEB運営 <代表的なニュースサイト投稿 記事詳細>

## 下半期の代表的な記事 3

### 陸奥湾のホタテを守るためにわたしたちができること

<https://aomori.uminohi.jp/report/hotate-mamorutameni/>

2023年に大きくメディアで取り上げられた「高温によるホタテのへい死問題」。青森県事務局としても情報を発信するべく、記事を作成した。記事では、ただホタテの魅力伝えるだけでなく、取り組まなければならないことを、読者と同じ目線で呼びかけるよう心掛けた。



事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 2.海応援動画制作・放送

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 2-(1) 海応援動画放送リスト

動画ID	放送日	放送時間	放送番組名	放送尺(秒)
A01	6/5	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A02	6/12	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A03	6/19	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A04	6/26	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A05	7/3	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A06	7/10	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A07	7/17	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A08	7/24	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A09	7/31	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A10	8/7	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A11	8/14	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A12	8/21	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A13	8/28	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A14	9/4	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A15	9/11	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A16	9/18	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A17	9/25	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A18	10/2	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A19	10/9	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A20	10/16	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A21	10/23	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A22	10/30	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A23	11/6	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A24	11/13	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180
A25	11/20	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180

## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A01
動画タイトル	屋形船でのっけだし茶漬けを満喫
動画コピー	八戸市の屋形船
Youtube 概要説明文	海から拓けた街八戸では、もっと海の魅力を提供できるように屋形船を運行しています。 そんな海をもっと好きになってもらえたらと思い今回初めて地元でダシを使った、美味しく減塩できる健康的なメニューを提供している、「だし&カフェ禅」が新井田丸とコラボしました。 多くの方にいつもの目線と違った八戸の海の景色と海の幸を味わっていただきたいと思っています。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A02
動画タイトル	八戸新名物「のっける丼」
動画コピー	海のうまいをドンドンのっける！
Youtube 概要説明文	<p>「みんなでとつ（魚）を楽しむ海の街」という意味が込められた『浜市場みなとつ』。朝一で有名な館鼻岸壁の近くにある新しいコンセプトのお店です。漁協直営店だから超新鮮な魚介類を楽しむことができます。この春から、好きな魚（刺身）を選んでどんぶりにする新名物「のっける丼」が誕生し賑わっています。自分だけのオリジナル海鮮丼を作ってみてはいかがでしょうか。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A03
動画タイトル	むつ湾フェリー「イルカいないかキャンペーン」
動画コピー	むつ湾フェリーでイルカに遭いに行こう！
Youtube 概要説明文	津軽半島と下北半島を結ぶ「むつ湾フェリー」では、野生のカマイルカが陸奥湾にやって来る4月～6月に割引料金で乗船できる「イルカいないかキャンペーン」を実施しています。 この時期、エサとなるイワシの群れを追ってくるカマイルカたち。むつ市川内町にある「むつ市海と森ふれあい体験館」では、カマイルカの生態について知ることができました。 海を通じてつながるイルカとわたしたち…。カマイルカの群れから、豊かな陸奥湾の海に思いを馳せます。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A04
動画タイトル	三陸海岸トレッキング&潮風ヨガ
動画コピー	階上灯台目指してトレッキング！小舟渡海岸で潮風ヨガも体験！
Youtube 概要説明文	<p>青森県の県南にある階上町。ここには「はしかみハマの駅あるでい〜ば」という、目の前が、太平洋を望む賑わい拠点施設があります。</p> <p>名前の由来「なんでもあるでば…」の通り、新鮮な海産物がたくさん販売されています。</p> <p>あるでい〜ばから、三陸海岸を階上灯台めざしてトレッキング。小舟戸海岸では潮風ヨガを体験！潮風を浴びながら地元の海の魅力を再発見できました。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A05
動画タイトル	ルート64 八戸バター
動画コピー	八戸市 きもの処きこう & マチニワ
Youtube 概要説明文	<p>青森県八戸市の呉服店「きもの処 焔好（きこう）」が開発した、地元の魚介を使った「ルート64八戸バター」。和服の新しい装いを提案している呉服店が、どうしてバターを？</p> <p>このバターとのコラボメニューを提供する「南部名川せんべい たまや」も紹介します</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

<b>動画ID</b>	A06
<b>動画タイトル</b>	スポ GOMI ワールドカップ 2023 青森大会
<b>動画コピー</b>	スポ GOMI ワールドカップ 2023 青森大会
<b>Youtube 概要説明文</b>	<p>地球に最も優しいスポーツ「スポ GOMI」。</p> <p>史上初となる世界一を決める大会が、今年 11 月に日本で開催されます。</p> <p>その「SPOGOMI WORLD CUP 2023」の日本国内予選大会「スポGOMI ワールドカップ 2023 青森 STAGE」が2023年6月25日（日）、青森市・サンセットビーチあさむしにおいて開催されました。計20チーム、60人が参加し、青森県代表に輝いたのは親子3代で出場の「pick up ピカピカ隊」チーム。ごみ総量6.22kg/3,595ポイントを獲得しました。そんな青森大会の様をお伝えいたします。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A07
動画タイトル	シーグラスと海の生き物クラフト
動画コピー	海への愛が詰まったシーグラス雑貨！
Youtube 概要説明文	<p>青森県鱒ヶ沢町の海岸でシーグラスや貝殻を探している作家がいると聞いて訪ねてみました！</p> <p>シーグラスとは、海岸に落ちているガラスの片のことで海外では「海からの贈り物」「海の宝石」ともいわれています。</p> <p>シーグラス作家の古川美保さんは、10年ほど前から作品づくりを始め、いろんな出会いやワクワク感がきっかけで大好きな海を訪れるそうです。</p> <p>最近はゴミが多いと感じますが、そんな中から海の大切さや海の生き物の命を感じる作品を作りたいと語っていました。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A08
動画タイトル	大畑海峡サーモン祭り
動画コピー	"海峡サーモン"つかみ取り！
Youtube 概要説明文	6月18日、青森県むつ市大畑町で「大畑海峡サーモン祭り」が開かれました。地元むつ市の北彩漁業生産組合が挑戦した外海養殖が実を結び、ブランド化に成功した「海峡サーモン」。30回目の開催となる今回の祭りでは、即売会だけでなくサーモンレースやタモすくい、つかみ取りが人気を集め、来場者が5000人を超える賑わいをみせていました。祭りを通して、「育てる漁業」でブランド化に成功した海峡サーモンへの理解を深めることができます。楽しみながら、海の資源に理解を深められるイベントです。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A09
動画タイトル	八甲田丸港フェスタ2023
動画コピー	八甲田丸のそばで青森の海を満喫！
Youtube 概要説明文	<p>青森駅のすぐそばの海に係留保存されている「青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸」。この八甲田丸を会場に、海をより身近に感じられるイベント「八甲田丸港フェスタ2023」が開催されました。</p> <p>会場ではホタテ釣りコーナーや、シーカヤック体験など、海が好きになるイベントが盛りだくさん！中でも今回のイベントの目玉は4年ぶりに開催される「Mr.防波堤コンテスト」放水ポンプの水圧に耐えようとする参加者たちの雄姿に注目です。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A10
動画タイトル	ゆかい村海鮮どんぶりまつり 烏賊様レース
動画コピー	4年ぶり復活！元祖烏賊様レース
Youtube 概要説明文	<p>2023年7月、本州最北端の村、青森県風間浦村で、津軽海峡のイカ、ウニ、アワビを贅沢に味わえる「ゆかい村 海鮮どんぶり祭り」が開かれました。</p> <p>今年の目玉は、4年ぶりに復活した「元祖 烏賊様（いかさま）レース」。水揚げされた新鮮な活イカを水槽で泳がせて勝敗を競います。</p> <p>ただ今年はこの海域でもイカが獲れず、苦勞の末、なんとか確保できたイカで開催にこぎつけました。会場は烏賊様レースで盛り上がる人たちや、おいしい海鮮丼に舌鼓を打つ人たちの笑顔が見られた一方、関係者たちは少しでも水揚げが復活することを願っていました。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A11
動画タイトル	あおもりアマモ調査団 前編
動画コピー	子どもたちが「アマモ」を学ぶ！
Youtube 概要説明文	青森県むつ市を舞台に2日間にわたって開催された「青森の海とアマモとの秘密を探れ！～あおもりアマモ調査団～」が開催されました。県内の小学生およそ20人が海草の「アマモ」について理解を深める体験学習。前編では、初日の様子をお届けします！海の中でのアマモの役割を学んだ子供たちは、早速海へ。アマモに触れたり、透明なシーカヤックやSUPに乗って、海の生き物様子を観察したりと、楽しみながら学びを深めていました。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

<b>動画ID</b>	A12
<b>動画タイトル</b>	あおもりアマモ調査団 前編
<b>動画コピー</b>	子どもたちが「アマモ」を学ぶ！
<b>Youtube 概要説明文</b>	青森県むつ市を舞台に2日間にわたって開催された「青森の海とアマモとの秘密を探れ！～あおもりアマモ調査団～」が開催されました。県内の小学生およそ20人が海草の「アマモ」について理解を深める体験学習。後編は、2日目の様子をお届けします！アマモが育つことで豊かな漁場となっている陸奥湾。そんな陸奥湾について学ぶため、2日目は漁港に水揚げされた新鮮な魚を見学。子どもたちはイナダや、巨大なカレイに興味津々！さらに、海の幸を使った料理体験も！



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A13
動画タイトル	津軽海峡海の子アカデミー2023
動画コピー	海を守る「海の子」を育てる！
Youtube 概要説明文	8月2日に大間町で開催された「津軽海峡 海の子アカデミー」の様様を紹介します！大間の海の課題を知ること、海に親しみ、津軽海峡の多様性を学び、海の豊かさを守ろうとする心を育むこのイベント。青森と北海道から集まった子どもたちは、海の観察や魚を捌く体験を通して、海を身近に感じていきます。それとともに、海ごみの現状についても学んでいきます。イベントのラストには、「大間アゲ魚っ子のうた」の歌詞をつくり、全員で発表！これまで以上に海を満喫した子どもたちの夏休みのひと時をご覧ください。



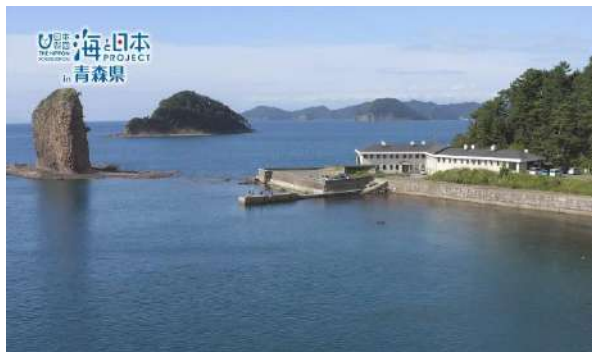
## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A14
動画タイトル	DOUBLE F -UKIDAMA EDITION
動画コピー	漁業用の浮玉をアップサイクル！
Youtube 概要説明文	<p>1949年に創業した青森市の「北洋硝子」は、漁業用の浮玉製造からスタートし、1973年には国内トップメーカーとなりました。その技術を活かして誕生した「津軽びいどろ」は、全国各地で愛される商品となっています。</p> <p>しかし近年、漁業用浮玉は樹脂製が主流となり、ガラス製はほとんど使われなくなりました。このため、漁師たちから北洋硝子に処分について相談が多く寄せられるようになったといいます。</p> <p>こうした状況から「資源を無駄にしたいくない。青森の景観も守りたい。」という思いでアップサイクルプロジェクト「DOUBLE F UKIDAM EDITION」が誕生しました。</p> <p>海を感じられる"匠の逸品"をご紹介します。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A15
動画タイトル	海洋生物学に情熱を注ぐ若者たち
動画コピー	海の生物ならではの アツと驚く発見を
Youtube 概要説明文	<p>青森市浅虫に設置されている東北大学大学院 生命科学研究所附属 浅虫海洋生物研究センターは、大正13年7月に設立された、歴史ある研究施設です。</p> <p>在籍する生命科学研究所の学生の学びも様々です。海水中に含まれた魚のDNAを分析して、どのような種類の魚が存在するかを解析する学生や、ホヤの仲間について、次世代を作る仕組みの進化を調べる学生などそれぞれが浅虫の海で研究を進めています。来年100周年を迎える同施設。温かい海流と冷たい海流が混ざり合い複雑な生態系を構成する浅虫で、多様な学びに情熱を注ぐ若者たちの様子をご覧ください。</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A16
動画タイトル	貝殻からできたネイルポリッシュCYAN
動画コピー	ホタテの貝殻がネイルポリッシュに！
Youtube 概要説明文	青森市でホタテ養殖から加工販売までを手掛ける「株式会社山神」。昭和45年の創業以来、水揚げ・加工まで一貫した生産体制で製品を販売しています。そんな企業がこのほど開発したのが、貝殻からできたネイルポリッシュ「CYAN」です。全部で11種類の色があり、ホタテの貝殻で鮮やかな発色が実現されています。およそ半世紀にわたって海と向き合い、ホタテにかかわってきた山神。これまで廃棄されてきたホタテの貝殻を活用して作られた、サステナブルな製品です。製品を通して、海の環境と暮らしを守る企業の取り組みをご紹介します。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A17
動画タイトル	スポGOMI甲子園2023 青森県大会！ 優勝校は…？
動画コピー	高校生が「ごみ拾い」で熱戦！
Youtube 概要説明文	今年も開催された高校生によるごみ拾いの激戦「スポGOMI甲子園」。9月16日に、3人1組のチームを組んだ県内の高校生51人が熱戦をくり広げました。大会の舞台となったのは青森市の合浦公園。海に面した公園で、高校生が1時間、ごみを拾い集めました。園内の草地や海水浴場の砂浜など、くまなく回って拾い集められたごみの総量はおよそ204キロ！ごみの質と量をポイント化し、その総得点で競います。優勝チームは11月に東京で行われる全国大会に出場します。果たして、公園の隅々までごみを拾い集めて青森県を制したチームは…？



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A18
動画タイトル	青森の豊かな海を次の世代に残す方法とは「陸奥湾感謝祭」
動画コピー	小学生が"陸奥湾"を考える
Youtube 概要説明文	2023年9月23日に青森市のねぶたの家ワ・ラッセで開催された「陸奥湾感謝祭」。陸奥湾に面するすべての自治体が一体となって、陸奥湾の豊かな海を次の世代に残していく方法について考えるイベントです。会場では子どもたちが描いた陸奥湾に関する絵が展示されたり、陸奥湾の環境を学ぶ体験コーナーが設置されたりしています。そして、ステージでは地域の自然を守るためのごみ拾い活動にも積極的に取り組んできた青森市立油川小学校による活動発表が行われました。すぐそばに海がある学校だからこそ、海岸清掃を通して地域の海の豊かさを守る取り組みを続ける子どもたちの発表にご注目ください。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A19
動画タイトル	子どもたちがアジの三枚おろしに挑戦！さばける塾in青森
動画コピー	漁師に学ぶ 魚のさばき方
Youtube 概要説明文	2023年10月1日(日)につがる市立車力小学校で開催された「さばける塾in青森2023」。講師に地元つがる市の漁師、小枝哲さんを招き、子どもたちがアジの三枚おろしと、漬け用のヒラメの刺身作りに挑戦しました。イベントでは、魚をさばくだけでなく、漁網の修繕体験と、青森の海と魚を学ぶ授業も行われ、子どもたちが海を好きになるプログラムも充実。体験を終えて、アジフライとヒラメの漬け丼をおいしく食べた子どもたち。楽しみながら魚をさばく体験を通してより一層海を好きになる時間となりました。子どもたちのさかなをさばく表情に注目です！



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A20
動画タイトル	青森県野辺地町で発見！ 今に伝わる北前船ゆかりの文化
動画コピー	北前船が遺した祭り・燈り・食
Youtube 概要説明文	江戸時代中期から明治時代まで大阪と北海道を往来していた「北前船」。青森県野辺地町にも寄港していたその時に伝わった文化が今も受け継がれています。少なくとも明治時代から行われている「のへじ祇園まつり」は、北前船で伝わった文化の一つ。そして、200年前からある常夜燈は、北前船を安定させるために積まれていた石だといいます。また、カワラケツメイという薬草を活かした料理は、古くから親しまれている茶がゆを始め、現在はラテやスイーツにもなっていて、その味を楽しむことができます。北前船がのこした文化や食の魅力をまとめました。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A21
動画タイトル	養殖技術確立に期待！ 青森の珍味「ミネフジツボ」の味って？
動画コピー	青森の珍味「ミネフジツボ」って？
Youtube 概要説明文	<p>「ミネフジツボ」って知っていますか？青森県階上町にある「青森県栽培漁業振興協会」では、ヒラメやアワビなどの栽培漁業を行っていて、このほど、フジツボの安定的な種苗生産ができることを発見しました。大量生産やコスト面にまだ課題はありますが、今後青森県の新たな水産・観光資源になることが期待されています。</p> <p>一体、フジツボとはどのような味なのでしょう…？青森市にある飲食店「百代」では珍しいフジツボ料理を提供しています。エビのような？カニのような？その味とは？</p>



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A22
動画タイトル	青森アマモ調査団の団員が水中ドローンで陸奥湾を探検！
動画コピー	駅前ビーチのアマモの現状は？
Youtube 概要説明文	ことし7月に青森県むつ市で開催された「あおりアマモ調査団」。県内に住む小学生たちが、陸奥湾一帯に生息する海草「アマモ」について学びました。 その団員の一人が、このほど陸奥湾のアマモを再び調査しました！今回の舞台は青森市の青森駅前ビーチ。駅前ビーチにもたくさんのアマモが植えられています。アマモの周辺にはどのような生き物が住んでいるのか、海の現状はどのようになっているのか。調査の様子をご覧ください。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A23
動画タイトル	青森の海から「ブルーカーボン」を考える
動画コピー	駅前の海で未来を変える取り組み
Youtube 概要説明文	青森駅にほど近い「青森ベイエリア」。この場所で、未来を変える取り組みが進められていることをご存知ですか？ カギとなるのは海草の「アマモ」。海のゆりかごとも呼ばれているアマモは、光合成のために二酸化炭素を吸って、酸素を供給します。海の生物によって炭素を海に固定化する「ブルーカーボン」を推進するために青森駅前ビーチでは、たくさんのアマモが植えられています。取り組みを進める2人の関係者のお話から、青森の海の未来について考えます。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A24
動画タイトル	海と灯台ウィーク！ 日本一高いレンガ灯台の魅力を紹介！
動画コピー	津軽海峡と太平洋を一望！
Youtube 概要説明文	11月4日、東京都で「海と灯台サミット2023」が開かれ、関係者が灯台をめぐる楽しさや利活用の方法が話し合われました。11月1日から8日まで開催された「海と灯台ウィーク」に合わせ、今回は東通村の尻屋崎灯台の魅力を紹介します。レンガ造りの灯台としては日本一高い33メートルを誇り、2022年12月に国の重要文化財に指定されました。魅力は何と言っても津軽海峡と太平洋を一望できる絶景！圧巻の景色をぜひご覧ください。



## 2-(2) 海応援動画 詳細

動画ID	A25
動画タイトル	海が食卓を彩る！ 海の幸を集めたコラボ商品を販売！
動画コピー	筋子・たらこ…海の幸たっぷり！
Youtube 概要説明文	青森市の水産加工会社「丸勝水産」では、このほど海と日本プロジェクトとコラボした「海が食卓を彩る」を発売しました。もっと気軽に食卓を海の幸で彩ってほしいとの思いからできた商品。商品の中には鱈筋子醤油漬、塩たらこ、イカ・ホッキ貝・数の子が入った海鮮サラダ、いかめんたいの4種類が詰まっています。魅力的な4種類の海の幸を楽しんでください！



事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

### 3.プロジェクト訴求映像 制作・放送

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

### 3-(1) プロジェクト訴求映像リスト

動画ID	動画タイトル	放送期間	放送尺 (秒)	放送 回数
B01	青森の海に思いを馳せて作った「津軽びいどろ」	2023/09/19～2023/11/30	15秒	120回
B02	スポGOMI ワールドカップ	2023/09/19～2023/10/08	15秒	70回
B03	海のごちそう「ミネフジツボ」	2023/10/17～2023/11/05	15秒	70回

### 3-(2) プロジェクト訴求映像詳細

動画ID	B01
動画タイトル	青森の海に思いを馳せて作った「津軽びいどろ」
放送内容	ガラス職人が、漁業で使用した浮球をアップサイクルして新たな命を吹き込みます。



「漁業の浮き球から生み出す  
ガラス職人の業」

「海の匠と津軽びいどろ」

共通サウンドロゴ

動画ID	B02
動画タイトル	スポGOMI ワールドカップ
放送内容	青森県代表も出場するスポGOMIワールドカップ。上位入賞チームを予想しましょう。



「ごみ拾い世界一を決める  
スポGOMIワールドカップ！」

「青森県代表チームも出場！」

「SNSで  
上位入賞チームを予想しよう！」

動画ID	B03
動画タイトル	海のごちそう「ミネフジツボ」
放送内容	青森県内でも知る人ぞ知る珍味「ミネフジツボ」カニのようなエビのようなその味は？



「青森の珍味 ミネフジツボ！」

「食べてみないと分からない！」

共通サウンドロゴ

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 4.知事・市区町村長からのメッセージ

## 4 知事・市区町村長からのメッセージ詳細

No	エリア	氏名	メッセージ内容
1	青森市	西 秀記 市長	青森市民の海『陸奥湾』。日本一の火祭り、ねぶたの浮かぶ海。ホタテやナマコなど豊かな海産物を育む海。函館・室蘭とのフェリーや、世界各国とのクルーズ船で交流を結ぶ海。私達は、豊饒の海『陸奥湾』を、将来の世代まで、美しく豊かな海として守っていきます。
2	むつ市	山本 知也 市長	むつ市は豊かな海に恵まれ、その恵みが市の発展と文化の基盤を築いてきました。北前船や海軍の歴史、美味しい魚介類、そして壮大な自然環境。これらはすべて、私たちの生活を支え、次の世代への大切な財産となっています。陸奥湾、津軽海峡、太平洋の3つの海が私たちに与えてくれる恵みに感謝し、未来を担う子どもたちとともに、これからも「海と日本プロジェクト」の活動を進めてまいります。
3	大間町	野崎 尚文 町長	大間町は、本州最北端に位置し北のオホーツク海からの寒流、南の日本海からの暖流が津軽海峡で交わり、あらゆる海産物の身が引き締まり、第1次産業の95%を漁業で営んでいる。漁師の方々から宝の海と言われています。 私達は、これから地球温暖化に対応した活動を「海と日本プロジェクト」と一緒に取り組んでまいります。



1.西 秀記 市長



2.山本 知也 市長



3.野崎 尚文 町長

## 4 知事・市区町村長からのメッセージ詳細

No	エリア	氏名	メッセージ内容
4	青森県	宮下宗一郎 知事	「海の記念日」発祥の地である青森県は、日本海、津軽海峡、太平洋及び陸奥湾に囲まれ、多様な漁業が営まれる豊穡の海が広がっています。そしてこの海を支えるのは、世界自然遺産白神山地や八甲田連峰など緑豊かな山々を源に、人々に潤いをもたらす清らかな水です。これらを次の世代へ引き継いでいくためには、健全な水循環やきれいな浜を大切にする心を育み、資源管理にも真摯に取り組むことが重要です。皆様の取組に大いに期待しています。



4.宮下 宗一郎 知事

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 5.オリジナルイベント

## 5-(1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	青森の海とアマモとの秘密を探れ！～あおもりアマモ調査団～
実施期間	2023年7月22日(土)～23日(日)
開催場所	青森県むつ市(海と森ふれあい体験館、脇野沢漁港、むつ市中央公民館)
参加人数	19人(小学5年生10名、小学6年生9名) ※最終応募数132名から選考し20名の参加者を決定。 当日に1名がインフルエンザで欠席となり、最終的に19名が参加。
主催	一般社団法人 海と日本プロジェクトin青森県
協力団体	むつ市海と森ふれあい体験館、川内町漁業協同組合、脇野沢村漁業協同組合、むつ市中央公民館、大湊海軍コロッセ普及会事務局、志田内海株式会社、青森山田高校、青森工業高校、スパウツ観光ホテル
開催概要	<p>一般社団法人海と日本プロジェクトin青森県は、海に生息する海草「アマモ」について理解を深めてもらうと、2023年7月22日(土)～7月23日(日)の2日間、「青森の海とアマモとの秘密を探れ！～あおもりアマモ調査団～」を開催いたしました。</p> <p>このイベントは、次世代に豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。</p> <p>青森県はアマモの生息面積日本一を誇る、全国有数の生息地です。しかし現在、沿岸の埋め立てや波消しブロック設置の影響により、青森の海でアマモが生息する「アマモ場」が減っています。アマモの減少は青森の重要な資源である水産物の減少にもつながることから、一刻も早く防がなければなりません。</p> <p>調査団の活動を通して、子どもたちに「青森の海におけるアマモの重要性」を認識してもらい、「“アマモ場”を守るためのきっかけ作り」を行いました。</p> <p>また、陸奥湾の恵みを取り入れたアウトプット商品として、オリジナルの「大湊海軍コロッセ」を制作し、むつ市、青森市で販売しました。</p>



## 5-(2) イベント詳細

イベント詳細	<p><b>1. 海の生き物にとってとても重要な役割を果たしている「アマモ」を学ぶ</b> 講師: 志田 崇 (志田内海株式会社) 県内でアマモの研究・保護活動に取り組む志田 崇さんから、アマモの歴史や種類、アマモが海の中で果たしている役割などについて講義をもらい、会場付近の海でアマモ場(アマモの生息場所)に生息する生き物を観察しました。予め仕掛けた漁網を揚げると、中にはカニやエビ、貝のほか、ウグイやハゼ、カレイの稚魚なども網にかかっている、子どもたちはアマモ場の付近には多くの海の生き物が生息していることを体感していました。</p> <p><b>2. アマモを守る「竜宮礁」について学ぶ</b> 講師: 青森工業高校の生徒の皆さま アマモを学び、保護する活動が続いている青森工業高校の生徒たちが、長年続けている「竜宮礁」の設置活動について子どもたちに向けて講義を行いました。「竜宮礁」は漁業からアマモの生育を守るために設置されているもので、子どもたちからは、「竜宮礁にはどんな魚がいるのか」「なぜ竜宮礁という名前なのか」など質問が相次ぎ、高校生たちも真剣に答えていました。</p> <p><b>3. SUP・カヤックで海の上からアマモを観察</b> 講師: 小池 拓矢 (むつ市海と森ふれあい体験館) 一日目の最後は、透明なSUP(スタンドアップパドル)とカヤックに乗り、海の上からアマモ場を観察しました。海と森ふれあい体験館のスタッフに漕ぎ方を教わった子どもたちは、これまでの学びを踏まえて陸奥湾の中へ。自分の目で海の底に生えるアマモを見て、アマモをより身近に感じていました。</p> <p><b>4. 漁港を見学 陸奥湾の海をさらに深く知る</b> 講師: 川崎いさ子 氏 杉浦大和 氏 (脇野沢漁業協同組合) むつ市の脇野沢漁港でその日水揚げされた魚を見学しました。この日はブリや大型のヒラメ、タイやアワビ、アンコウなど幅広い魚種が上がっていました。漁師からは、昔と比べて獲れる魚種が変わってきているという話もあり、海の変化を知ることができました。また、ホタテの「ほやき(殻むき)」体験では、家で食べるホタテがどのように捌かれているのか、自分の手で体験し確かめていました。</p> <p><b>5. 海の恵みをコロッケで味わう オリジナル「大湊海軍コロッケ」作り</b> 講師: 梅田 弥昇彦 先生 (青森山田高校調理科) 海の恵みに触れた子どもたちは、その海の幸を使った料理に挑戦しました。作るのは下北名物「大湊海軍コロッケ」。牛脂で揚げたコロッケの中にホタテを取り入れたスペシャルメニューです。子どもたちは海の恵みに感謝しながら、手作りのコロッケの味を堪能していました。</p> <p><b>6. 2日間の学びをまとめて発表</b> イベントの集大成は、これまでの学びの総まとめ。これまでに学んだことを1枚の絵に表したほか、4つの班に分かれて学習の成果を発表しました。子どもたちが発表した成果物は、下記のアウトプット商品で活用しました。</p> <p><b>7. アウトプット</b> 「アマモがいるからこそ多くの魚種が集まる」という事を学んだ子どもたちが描いたイラストをパッケージに採用したオリジナルの「大湊海軍コロッケ」を制作。商品はJR新青森駅や県内のイベントで販売し、5,000個を売り上げました。</p>
--------	---

### 5-(3) イベント写真

#### 《1. 海の生き物にとってとても重要な役割を果たしている「アマモ」》



#### 《2. アマモを守る「竜宮礁」について学ぶ》



#### 《3. SUP・カヤックで海の上からアマモを観察》



#### 《4. 漁港を見学 陸奥湾の海をさらに深く知る》



### 5-(3) イベント写真

#### 《5. 海の恵みをコロッケに!「大湊海軍コロッケ」作りに挑戦!》





#### 《6. 2日間の学びをまとめて発表》



#### 《7. アウトプット》



## 5-(4) その他

<p>応募施策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標応募人数 100名以上</li> <li>・実施した応募施策 青森市教育委員会とむつ市教育委員会と連携し、各学校にチラシを配布</li> <li>・最終応募人数 132名</li> </ul>
<p>その他の自主的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの施策 X(旧Twitter)にて募集の拡散などのほか、イベント当日はリアルタイムでイベントの様子を投稿するなど、積極的にSNSを利用。そうすることで参加者の保護者をフォローとして取り込んだほか、その先にある海プロの訴求対象層へのアプローチに成功。活動に興味関心の高いフォロワー獲得につながりました。本施策については、保護者から「子どもたちの楽しそうな様子を知ることができてよかった」「非常に魅力的なイベントだったことが伝わった」など、肯定的なご意見をいただきました。</li> </ul>
<p>課題と対応案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の集合のしやすさを考慮し、むつ市・青森市の小学生に限定して告知を行いました。レスポンス含め、応募者数を確保するのに想定以上の時間がかかりました。来年度以降は全県的な募集を行う方向で施策を検討します。</li> <li>・参加者の1人に発達障害のある児童がいました。非常に能動的に、熱心に参加してくれた一方で、他の参加者とのトラブルも発生し、スタッフが対応にあたりました。その際、随行していただいた看護師が元小学校の養護教諭だったこともあり、子どもたちのサポート面で尽力していただきました。来年度以降はこの点についても強化していきたいと考えています。</li> <li>・イベントの最後に実施した振り返り・アウトプットでは、子どもたちの集中力が若干切れかかっている印象を受けました。学びのまとめとなる振り返りで、いかに子どもたちの集中力を維持させられるか、来年度以降の施策において工夫を施していきたいと考えています。</li> </ul>
<p>配布物</p>	<p>①募集チラシ2,000部</p>  <p>②取材ノート20部</p> 

### 5-(5) メディア露出状況

## 自社媒体

海応援動画 2023年8月14日・21日



ニュース報道 2023年7月22日



## 他媒体

### 案内状・メディア声掛け先

- ・青森県政記者会
- (東奥日報・デーリー東北・陸奥新報・河北新報・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞 日本経済新聞・共同通信・時事通信・NHK・青森放送・青森朝日放送・フジテレビ青森支局)
- ・むつ市市政記者クラブ(同上)

東奥日報 2023年7月24日朝刊



デーリー東北 2023年7月28日朝刊



事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 6.推進パートナー連携事例

## 6-(1) 推進パートナーとの連携事例

## ▼連携事例1(オリジナルイベントアウトプット)

企画名称	海プロオリジナル 大湊海軍コロッケ
連携先企業・団体名	デリカむつ
連携内容	海と日本プロジェクトオリジナルイベントを実施するにあたり、むつ湾内の海の恵みを理解するきっかけを、子供たちに伝えていただき他ことに共感し、本推進パートナーに賛同。今年の商品開発に連携することになった。商品は通常販売している大湊海軍コロッケを使用。商品を販売する際のパッケージを子供たちのイラストを印刷したオリジナルパッケージで販売を行う。今回の舞台であるむつ市でイベントを行い、販売に関してはオリジナルイベントにも参加した子供たちにも売り子として会場に来ていただき販売の手伝いを行いました。
対象者の属性および規模、物量	商品販売数:1,000個
連携開始	2023年10月15日
連携終了	2023年12月31日
ニュースリリース イベントレポート その他報告事項など	<a href="https://aomori.uminohi.jp/report/umipro-ohata-korokke/">https://aomori.uminohi.jp/report/umipro-ohata-korokke/</a>



## 6-(1) 推進パートナーとの連携事例

### ▼連携事例2

企画名称	食卓を豊かにする副菜となるように”海が食卓を彩る”
連携先企業・団体名	株式会社丸勝水産
連携内容	商品のパッケージには、その日の食卓がどんな食材がメインだとしても食卓を豊かにする副菜となるように”海が食卓を彩る”をテーマにしながら、年末に向けて贈答用または自分・家族へのご褒美感ができるようなデザインをイメージ。商品については、丸勝水産の店舗の他、オンラインショップでも販売しております。
対象者の属性および規模、物量	商品販売数: 500個
連携開始	2023年10月1日
連携終了	2024年9月30日
ニュースリリース イベントレポート その他報告事項など	海の応援動画でも取り上げております。 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=UgunE0bXIQ8&amp;list=PLJu8-wdeIPDL-OtTw4IAa98IcUDH20jBC&amp;index=3">https://www.youtube.com/watch?v=UgunE0bXIQ8&amp;list=PLJu8-wdeIPDL-OtTw4IAa98IcUDH20jBC&amp;index=3</a>





定番商品
ギフトセット
贈り物
おたて
お祝い品
逸品
レポート

HOME > おトクエッセ > 「海が食卓を彩る」4種セット



### 「海が食卓を彩る」4種セット

冷蔵で販売される、すじこ・たらこ・イカなど、たくさんのおかずで食卓を彩るまんぞくセットです。

- ・新助子醤油漬け
- ・塩たらこ
- ・養殖サラダ
- ・いか明太子

(4種 各96g)

丸勝水産の定番商品「熟鮫」や「塩たらこ」様、人気商品が一度に味わえます。4種それぞれ単装のケースに入っているため、おし上がる分のみ個別に解凍もできるお取り出しの他、お酒のつまみやお弁当のおかず、おにぎりの具に最適です。ギフトとしてもお喜ばれるパッケージデザインです。

ツイートする
シェアする

販売価格 2,700円(税込)





海を味わおう  
特選まんぞく 贈り物セット

株式会社 丸勝水産 青森県 海と日本PROJECT in 青森県

## 6-(1) 推進パートナーとの連携事例

## ▼連携事例3

企画名称	ホタテノセンザイノウリョク
連携先企業・団体名	株式会社山神
連携内容	商品パッケージには、海と日本プロジェクトに関する詳細と、青森県をイメージできるイラストとホタテの貝殻を100%使用した貝殻洗剤であるという事を明記。そして、「海を学ぼう」「海をきれいにしよう」という海プロのアクションに共通する項目も記載し、海プロの訴求へとつなげます。ホタテの貝は今まで捨てることに困って不法投棄されている事例が起っており、海洋汚染にもつながっている事例がありました。そんな貝を粉末状にホタテの力を100%使用した洗濯石鹸を県民はもとより全国の皆さんに知ってもらいたいと思いこちらの商品を作りました。現在山神のオンラインショップ、青森県内の意土産コーナーなどで販売しております。
対象者の属性および規模、物量	商品販売数: 500個
連携開始	2024年2月1日
連携終了	2024年12月31日
ニュースリリース イベントレポート その他報告事項など	<a href="https://aomori.uminohi.jp/report/hotate-senzai/">https://aomori.uminohi.jp/report/hotate-senzai/</a>



事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 7.本部・他助成事業との連携企画

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 7-(1) 本部・他助成事業との連携企画リスト

開催日	連携事業名
2023年09月19日(火)～11月05日(日)	海のごちそうプロジェクト
2023年11月13日(月)	海と灯台プロジェクト
2023年07月28日(金)～03月31日(日)	海の民話のまちプロジェクト
2023年10月01日(日)	日本さばける塾
2023年11月06日(月)	ソーシャルイノベーションニュース

## 7-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

## 海のごちそうウィーク(青森県)

企画名	海のごちそうウィーク「海のごちそう」動画制作・放送
放送日時	2023年9月19日(火曜日)～2023年11月5日
放送本数	本編15秒×70本
放送内容	「海のごちそうウィーク」について、ウィークの主旨を交えながら、ご当地の「海のごちそう」であるミネフジツボを紹介する動画を制作・放送した。青森県民にとって、かつては身近な食材だったフジツボは、大量捕獲によって一気にその姿を消した。しかし近年、青森県階上町にある青森県栽培漁業振興協会によって養殖技術が確立されたことにより、今後「青森の珍味」として、復活が期待されている。一目見ただけではどのような味が分からないミネフジツボを15秒という短い時間で効果的に伝えるため、本動画では「カニのような？エビのような？食べてみなきゃ、分からない」という一言で表現し、その魅力を発信した。



## 7-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

連携企画名	「海と灯台ウィーク2023」PR事業
内容	灯台を中心に地域の海の記憶を掘り起こし、地域と地域、日本と世界をつなげ海洋文化を伝える「海と灯台プロジェクト」が実施する「海と灯台ウィーク2023」の盛り上げ施策として海と灯台事務局と連携し、下記を実施した。

## ■ 取り組みの取材・放送

取り組み内容の取材を実施して動画を作成・放送した。

放送日	放送時間	放送番組名	放送尺(秒)
2023/11/13	18:56 -19:00	海と日本プロジェクトin青森	180



## 7-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

連携企画名	海ノ民話のまちプロジェクトin 青森県		
実施事項	①キックオフミーティング	②上映会・フィールドワーク	③アニメ完成表敬訪問
開催日	2023年7月28日(金曜日)	2024年2月21日(水曜日)	2024年2月2日(金曜日)
時間	10:00～11:00	10:00～12:10	14:00～15:00
開催場所	外ヶ浜町役場	外ヶ浜町立蟹田小学校	外ヶ浜町役場
参加人数	8人	140人	2人
内容	<p>海と深く関わりを持つ日本という国の「海との関わり」と「地域の学び」を子供たちに伝え語り継ぐことを目的としたプロジェクト「海ノ民話のまちプロジェクト」に参加・連携。</p> <p>①キックオフミーティングの実施 実行委員会メンバーとアニメ制作チームとアニメ制作に関するキックオフミーティングを実施。民話の舞台・ゆかりの地でロケハンを行い絵コンテ制作。</p> <p>②アニメ上映会およびフィールドワークの実施 外ヶ浜町立蟹田小学校5・6年生を対象に、青森県営浅虫水族館の職員から、アニメ「かんだ蟹」に登場する地元特産のトゲクリガニの生態や海洋生物と海洋環境問題の現状についての講義を実施。児童達からは、海の生物はとても神秘的だった。魚をこれからも守っていききたい。などの感想が聞かれた。</p> <p>③アニメ完成表敬訪問 外ヶ浜町の山崎結子町長に沼田心之介アニメーション監督が表敬訪問を行った。</p> <p>■取材・放送情報 2月3日に青森テレビ「ATVニュース」内で表敬訪問の様子を放送。</p> <p>■今後の展開について 今後は外ヶ浜町運営施設での常時上映を予定。</p>		



7-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

実施事項	海ノ民話のまちオリジナルコラボ商品開発
商品名	クリアファイル
連携先	道の駅たいらだて
販売場所	道の駅たいらだて
販売期間	2024年3月25日(月曜日)～終了期間未定
販売個数	1,000部
内容	<p>「海の民話のまちプロジェクト」のさらなる周知のため、海ノ民話アニメーション「かんだ蟹」を題材としたオリジナル商品を開発・販売することでプロジェクトの周知を図った。</p> <p>商品のデザインにDVD/BDパッケージのベース画像を使用した事により、アニメーション「かんだ蟹」のイメージ・一体感が表現されたと思う。</p>



## 7-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	日本さばける塾in青森
開催日	2023年10月1日(日曜日)
時間	8:45~14:00
開催場所	車力小学校(青森県つがる市車力町屏風山1-27)
参加人数	10組20人
連携内容	<p>普段当たり前の様に口にしている魚について学び、その魚をさばくことで得られる喜びや感動を入り口に、「海が好き・海を大切にしたい=海ごころ」を育む海洋教育講座「日本さばける塾」を青森県つがる市車力で実施。</p> <p>車力を中心に県内から10組20人が参加し、地元漁師の小枝哲さんから指導を受けながらアジをさばきました。また、県魚である巨大なヒラメのさばき方を見学し、調理技術や陸奥湾の魚について学びました。</p> <p>また、「学びに繋がる魚」を通して県の水産振興課の伊勢田亜美さんによる講義も実施し、陸奥湾の海の特徴や現在の海洋環境・食文化について学びました。</p> <p>参加者からは「美味しい魚が獲れるのと山が関係しているのを初めて知った」「漬け丼を食べた事がなくてお刺身だけじゃないんだと思った」など、海や地元の魚食文化に関する気づきの感想があった。</p> <p>■メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの漁師・小枝哲さんに学ぶ 地引網の修理体験と網を使ったタワシづくり</li> <li>・青森の魚って?海の不思議を学ぶ 県庁水産振興・伊勢田亜美さんによる講義</li> <li>・皆でアジをさばいてアジフライ&amp;県魚のヒラメを使った漬け丼にチャレンジ</li> </ul> <p>■取材・放送情報</p> <p>10月9日(月)18:56~19:00「海と日本プロジェクトin青森県」でさばける塾の様子を放送。</p>



## 7-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

連携事業名	海と日本ニュースプロジェクト2023
連携内容	海応援動画の共通テーマとなっている中から、「顕在化していない海の問題“ブルーカーボン”」を素材・情報ソースとして提供した。 提供した素材は、Webファーストな動画に加工・再編集の上、テキスト記事原稿と共に独自のニュースサイトに掲載され、既存のニュースメディア(Yahoo! ニュース)と連携し、拡散された。
提供動画取材内容	青森駅にほど近い「青森ベイエリア」。この場所で今、未来を変える取り組みが進められている。 カギとなるのは海草の「アマモ」。海のゆりかごとも呼ばれているアマモは、光合成のために二酸化炭素を吸って、酸素を供給している。海の生物によって炭素を海に固定化する「ブルーカーボン」を推進するために、青森駅前ビーチでは、たくさんのアマモが植えられている。この取り組みを進める2人の関係者の話から、青森の海の未来について考えた。



事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 8.首都圏PRイベント

## 8 首都圏PRイベント詳細

開催日時	10月21日(土)11:00-18:00(マルシェ他)、11:00-20:00(キッチン) 10月22日(日)10:00-17:00(一部16:00まで)
イベント名	海のごちそうフェスティバル
開催場所	二子玉川ライズ 中央広場・ライズスタジオ&ホール
詳細	<p>食を通した海への関心の裾野拡大を目的に、物販や飲食、ステージイベントや各種ワークショップを通して海のメッセージを伝える海のごちそうフェスティバルが二子玉川ライズで開催。エリア事務局として、フェスティバル内の「海のごちそうマルシェ」に海と食チームと連携し、推進パートナーの連携商品の提供を行った。</p> <p>▼提供商品情報①</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・商品名:じん子ちゃんサイダーCHANGE FOR THE BLUE</li><li>・推進パートナー企業名:八戸製氷冷蔵株式会社</li><li>・希望小売価格(税込):350円</li><li>・ごちそうフェス提供数:100個</li><li>・商品説明:青森県八戸市の老舗サイダー店が、海ごみゼロを目指す取り組み「CHANGE FOR THE BLUE」とコラボ。八戸の名水「三島の湧水」を使い、青森県を囲む美しい海を表現しました。</li><li>・販売個数:61個</li></ul> <p>▼提供商品情報②</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・商品名:ゴロゴロほたての食べるオリーブオイル</li><li>・推進パートナー企業名:株式会社山神</li><li>・希望小売価格(税込):1300円</li><li>・ごちそうフェス提供数:30個</li><li>・商品説明:陸奥湾の新鮮なホタテと、スーパーフードのキヌア、食物繊維やビタミンEが豊富なアーモンド、カルシウムが豊富なチーズなどをエキストラバージンオリーブオイルに漬け込んだ調味料です。</li><li>・販売個数:12個</li></ul> <p>▼提供商品情報③</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・商品名:ゴロゴロほたての食べるラー油</li><li>・推進パートナー企業名:株式会社山神</li><li>・希望小売価格(税込):1300円</li><li>・ごちそうフェス提供数:30個</li><li>・商品説明:陸奥湾で取れた新鮮なホタテの旨みがたっぷり溶け込んだピリ辛のラー油です。食感の良いアーモンドやガーリック入り。茹でたパスタに絡めれば簡単ペペロンチーノに。</li><li>・販売個数:18個</li></ul>

事業ID: 2023007226

事業名: 海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名: (一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 8 首都圏PRイベント詳細



事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 9.その他の放送実績

事業ID:2023007226

事業名:海と日本PROJECT in 青森県(エリア・CFB・海と日本2023)

団体名:(一社)海と日本プロジェクトin青森県

極秘

## 9-(1) その他の放送実績リスト

	放送日	放送時間	放送番組名	放送尺 (秒)
D01	2023/7/22	17:30-17:45	JNNニュース	75
D02	2023/11/17	6:24-6:27	チョコッと耳よりっ	60
D03	2024/3/2	6:24-6:27	チョコッと耳よりっ	60

## 9-(2) その他の放送実績詳細

ID	D01
放送内容	例: 日本財団が推進する海と日本プロジェクトの一環として行われた「青森の海とアマモとの秘密を探れ! ~あおりアマモ調査団~」について青森県内のローカルニュースにて放送した。

放送日	放送時間	放送番組名	放送尺(秒)
2023/7/22	17:30-17:45	JNNニュース	75



## 9-(2) その他の放送実績詳細

ID	D02
放送内容	東京・世田谷区で開催された海のごちそうフェスティバルについて、青森県から「ゴロゴロほたての食べるオリーブオイル」と「ゴロゴロほたての食べるラー油」、「じん子ちゃんサイダーCHANGE FOR THE BLUE」が販売されている模様取材した。また、地域モデルブースでは「ホッケドッグ、アゲ魚っ子ボール(愛称:あげっこ)」が出店していて、その様子についても放送した。

放送日	放送時間	放送番組名	放送尺(秒)
2023/11/17	6:24-6:27	チョコッと耳よりっ	60



## 9-(2) その他の放送実績詳細

ID	D03
放送内容	2月18日に東京都内で開催された「マリンチャレンジプログラム」の全国大会について放送した。大会の概要に加え、最優秀賞、日本財団賞を紹介したほか、「共同研究プロジェクト」に青森県立名久井農業高校の泉山菜摘さんが参加したことを番組内で伝えた。

放送日	放送時間	放送番組名	放送尺(秒)
2024/3/2	6:24-6:27	チョコッと耳よりっ	60

